

令和6年度宮古市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和6年10月3日(木) 午後6時から午後7時40分まで

2 場 所 市民交流センター2階 多目的ホール

3 協議事項
宮古市教育大綱について

4 出席者（14名）

・構成員

宮古市長	山本 正徳
宮古市教育委員会教育長	伊藤 晃二
宮古市教育委員会教育委員	荒谷 榮子
宮古市教育委員会教育委員	平井 亮吉
宮古市教育委員会教育委員	杉本 裕樹
宮古市教育委員会教育委員	大村 光代

・オブザーバー

宮古市副市長	桐田 教男
総務部長	下島野 悟
企画部長	多田 康

・事務局からの出席者

教育部長	佐々木 勝利
教育委員会総務課長	伊藤 眞
学校教育課長	菊池 正幸
生涯学習課	佐々木 雅明
文化課長	安原 誠

5 傍聴人 一般：17名

令和6年度宮古市総合教育会議 議事内容

次 第	発言者	内 容
1 開会	佐々木教育部 長	ただいまから、令和6年度宮古市総合教育会議を開会いたします。私は教育委員会事務局教育部長の佐々木勝利と申します。会議に入るまでの間、本日の進行を務めたいと思います。それでは、会議の開会にあたり、山本市長からご挨拶を申し上げます。
2 市長挨拶	山本市長	令和6年度の宮古市総合教育会議の開会に当たりまして、一言ご挨拶をさせていただきたいと思います。伊藤教育長はじめ教育委員の皆様には、日頃から宮古市の教育の振興のためにご尽力をいただいております。改めて感謝を申し上げたいと思います。本日ですが、宮古市の教育大綱についてご協議をいただきたいと思いますと思っております。現在宮古市では、令和7年度からの総合計画後期基本計画の策定を進めております。また、令和7年度からの教育振興基本計画につきましても、並行して作成を進めております。本日協議していただいたことをもとに、総合計画後期基本計画、教育の振興に関する大綱、教育振興基本計画に反映させ、市の教育行政を推進してまいりたいというふうに考えてございます。教育委員の皆様と活発な議論を行いたいと思っておりますので、率直なご意見をいただければ幸いです。どうぞ本日はよろしく願いいたします。
3 教育長挨拶	佐々木教育部 長	ありがとうございました。それでは次に、教育委員会を代表いたしますして、伊藤教育長から挨拶をいたします。
	伊藤教育長	本日の議題は、市長からお話があったとおり、来年度から始まる教育振興基本計画の骨子となる教育大綱についてです。そして、本日は桐田副市長をはじめ、下島野総務部長、多田企画部長にもオブザーバーとして出席をしていただきましたので、たくさんご意見いただきたいと思います。本日の午前中は山田中学校に行って参りました。宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村で構成された、宮古短期大学部協力会という団体があります。この協力会の事業の一環でプログラミング教室を行いました。本日は山田中学校の3年生の、2クラスの授業を行いました。短大の先生が講師として訪問し授業を行いました。2時間続けた授業でしたが、集中して取り組んでいました。多様な学びだということでもとても好評でした。本日は各分野の内容を説明いたします。継続性のある教育行政を行うためには、来年度の計画が重要だと思っておりますので、率直なご意見をよろしく願いいたします。
4 議事 (1)報告	佐々木教育部 長	それでは本日の協議事項に入ります。議事の進行につきましては、宮古市総合教育会議運営要領第4条の規定により、山本市長に、議長をお願いいたします。

	山本市長	はい。それでは会議の進行をさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いします。本日の協議事項ですが、「宮古市教育大綱について」でございます。それでは事務局から説明をお願いします。
	伊藤総務課長	資料に基づき「宮古市教育大綱について」説明。
	山本市長	はい、ありがとうございました。教育委員の皆さんにご意見を伺いたいと思います。荒谷委員からお願いします。
	荒谷委員	先日ある保育所の運動会を見に行きました。見て感じたことは、子どもの人数が減少しているということです。また、職員の人数が多く手厚く保育されている様子も見ることができました。改めて、子どもは宮古市の宝だと実感することができました。この大綱で気になった点をお伝えします。1つ目ですが、教育は安心安全なところで行うべきだという点です。災害から命を守ることに関する指導を発達段階に応じて行い、継続することが大切だと思います。命の大切さを子どものころから教えてほしいと思います。特に近年はいつ、どこで、どのような災害が起こるか予想が難しいです。命の大切さと災害から自分自身を守ることを教えていただきたいです。2つ目は、少子化がとも進んでいるという点です。そしてこれからも少子化は続くと思います。この中で、教育の質が下がらないようにしてほしいと思います。少子化に対しどのように対処していくのか、真剣に考える必要があると思います。対処法として例えば、他校との交流などが挙げられると思います。3つ目は、学校現場に対する要望ですが授業改善と、生徒理解に力を入れてほしいと思います。教育現場は環境の変化などにより大変な状況だと思いますが、子どものために奮闘してほしいと思います。どの子どもにも分かる授業を行うことや、誰一人取り残さない授業を行うことなど昔からの教員の合言葉を、今の時代にも活用してほしいと思います。
	山本市長	はい、ありがとうございました。学校教育を中心にお話をしていただきました。次に平井委員お願いします。
	平井委員	今の子どもたちは、手厚い指導を受けていると思いますがその反面、家庭で行うべき教育も学校に求められている気がします。教育委員会として、子どもたちだけではなく先生方も守りたいと思っています。給与面や精神面でフォローができる体制を整えていければよいと思います。中学校の部活動の地域移行については、少子化が進んでいますので、いわてスーパーキッズのような形をとった方がよいのではないかと考えたこともあります。先生方でも得意とする競技が異なるとしますので、得意な種目の指導ができるよう配慮することも必要なのではないかと思っています。

	山本市長	はい、ありがとうございました。それでは杉本委員お願いします。
	杉本委員	施策1の学校教育の充実に、情報モラルの指導の徹底とありますが、非常に重要な部分だと思います。学校でも苦勞していると思いますが、引き続き情報モラルについては注目するべきだと思います。また、「教職員の指導力の向上について」と「学校体制の充実にについて」ですが、教員が指導しやすい環境を整えることが大切だと思います。（2）豊かな心を育む教育の推進の中で復興教育を中心としてとありますが、災害が多く起きている現状を考え危機管理や防災教育に、より力を入れるべきでないかと感じました。今回の大綱では、脱炭素化という言葉がキーワードになっていると思いました。また、先ほど平井委員からもあったように、中学校の部活動の地域移行が全国的に重要視されています。非常に時間を要する問題だと思いますが、時間をかけた分より良い結果が見つかればよいと思います。
	山本市長	はい、ありがとうございました。それでは大村委員お願いします。
	大村委員	感想ですが、施策1学校教育の充実に（6）教育環境の充実にについて、宮古市では奨学金や給食費の無償化などの様々な支援がありますが、これらを継続してほしいと思います。また、施策2生涯学習の推進では、社会全体で「親子」の育ちを支えるということや、学校、家庭、地域の連携と協働について書かれています。様々な体験などを地域で経験していくことが、親子の成長につながると思いますので、より充実させていただきたいと思います。中学校の部活動の地域移行については、少子化も進んでいるため地域に移行することは必要だと思います。施策3スポーツ・レクリエーションの振興の（1）推進体制の充実に、大会や合宿の誘致や、連携協定を締結した大学等と協力しながらと書かれています。雫石町では大学生が合宿を行い、演奏会を実施しています。今年は、大学生と一緒に中学生も演奏をしていました。合宿をしながら、中学生に指導を行っていたそうです。その結果、県大会の小編成で金賞を受賞する成果をあげたそうです。宮古市でも早稲田大学などが合宿をされていると思います。発表を拝見するだけではなく、小学生や中学生への指導などのふれあいができればよいのかと感じました。
	山本市長	はい、ありがとうございました。本日はオブザーバーもおりますので、意見を伺いたいと思います。桐田副市長お願いします。
	桐田副市長	行政の視点でこの教育大綱についての意見を、報告したいと思います。荒谷委員がおっしゃっていた子どもたちは宮古の宝という言葉は、これまで以上に重要なテーマだと認識しています。

		子どもたちは宮古の宝ということを前提に、教育大綱を読み解くと、施策1学校教育の充実の(6)教育環境の充実に書かれている、「地域とともにある学校づくり」の中の地域とともにという部分が、学校と地域が互いに目を向けるために極めて重要だと思います。結果的にこの教育大綱で重要視することは、子どもたちが郷土を思い愛することであり、その結果まちづくりに参画する意識が醸成され、ふるさと宮古に誇りを持ってもらうことだと思います。宮古に誇りを持ってもらうためには、他者からの意見を知ることが必要だと思います。現在行われている事業では、友好都市交流事業が当てはまっています。これらは教育大綱に書かれていますが、より深く強く取り組んでいくことが必要だと思います。それから、宮古に誇りを持ってもらうための取組は学校以外でも行われているということを理解したうえで、学校現場での活動を行うべきだと思います。
	山本市長	はい、ありがとうございました。それでは伊藤教育長お願いします。
	伊藤教育長	現在の計画は令和2年度から始まり今年度で終了いたします。その前の計画は平成に作成されています。平成の時代と大きく異なる部分は、少子化が進んでいるということと、インターネットが急速に発展し情報モラルの必要性が高まっていることです。情報の取り扱いに関するルールが整う前に、インターネットが急速に発展したため、ルールが後づけになってしまいました。学校教育においては、魅力ある学校づくりを進めるべきだと思います。子どもたちが楽しいと感じる居場所作りと絆づくり、それから特別支援教育にも力を入れるべきだと考えています。特別支援学級の子どもは年々増加しています。また、相談件数も増えています。障がいを持つ子どもも、楽しく学校に通うことができるような学校づくりを行いたいと思います。施策2生涯学習の推進の中でポイントとなるのは、コミュニティ・スクールについてです。現在学校・家庭・地域での話し合いを進めています。施策3スポーツ・レクリエーションの振興についてはスポーツツーリズムを進めていきたいと思っています。これは、まちづくりにも大きな影響を与えたいと思います。併せて、中学校の部活動の地域移行にも力を入れていきたいと思っています。現在様々な実証事業を進めています。施策4文化の振興については今年度7月に文化庁から承認いただいた、「宮古市文化財保存活用地域計画」をどのように具現化していくかが課題だと思います。こういった部分が来年度以降5年間のキーワードとなるのではないかと考えています。
	山本市長	はい、ありがとうございました。私は市長になった15年前に教育立市と産業立市を掲げ、教育と産業に力を入れるということ

		で市長に就任しました。教育委員を4年務めていたため、教育に関し取り組みたいことが多くありました。しかし、財源の問題で取り組むことができない課題もありました。教育を受ける側と、する側の環境を整えることが必要だと感じたため、施設整備を行いました。またしっかりと教育を受けられるようにするために、奨学金制度を立ち上げました。子どもたちが、自分の学びたいことを経済的な理由で諦めることがないようにしてきました。給食費の無償化や子育て支援も行っています。住んでいる場所により生活や、教育の差が生まれやすい環境を整えてきました。この大綱では、子どもたちが社会を生き抜く力をつけられるような環境づくりについて盛り込みました。しかし、委員の皆さんのご意見を聞き、足りない部分もあると認識しました。例えば荒谷委員がおっしゃったように、防災教育については盛り込む必要があると思いました。学校教育だけではなく、社会教育の面でも防災教育は重要だと思います。また、平井委員がおっしゃったように子どもにルールを教えることは、学校教育だけではなく家庭や、地域でも必要だと思います。大綱に足りない部分は、付け加えたいと思います。第1巡目は以上です。荒谷委員何かありますか。
	荒谷委員	市内の至る所に図書が欲しいと思っています。人が集まる場所に、小さな図書館のようなものがあればよいと考えています。例えば病院や駅などで、人が集まり自然と本をとって読むことができるまちづくりを考えています。
	山本市長	豊かな心を育むのは子どもたちだけではなく、市民全員に必要なことだと思います。そのために本を読むことはとても大切なことではないかと思います。杉本委員どうですか。
	杉本委員	荒谷委員の意見に対してですが、企業の本や専門書などがあると、子どもたちの将来の職業選択の幅も広がると思います。
	山本市長	はい、ありがとうございました。伊藤教育長からお願いします。
	伊藤教育長	紫波町にオガールという施設があります。この施設には、町役場、小児科クリニック、保育所、産直や図書館などがあります。この施設は紫波町の企画課が立ち上げました。紫波町は農業が盛んなため、図書館には農業の専門誌なども置いてあり、人が絶え間なく訪れているそうです。駅前のキャトルが今後市の核となると思いますが、その中に図書のブースがあってもよいと思います。図書の充実に関しては子どもたちの関心も高く、各学校でも工夫して取り組んでいますので、ご指摘があった内容を盛り込みたいと思います。それから防災教育についてのお話がありました。コミュニティ・スクールが発足した際にこちらから依頼をしたテーマがありました。1つ目は、各学校で防災を意識した話をしてほしいということです。2つ目は、中学校

		の部活動の地域移行について話し合いを進めてほしいということです。色々な成果も上がっていますので、それらを付け加えられるよう工夫したいと思います。
	山本市長	キャトルについての話題がありました。多田企画部長から何かありますか。
	多田企画部長	はい。キャトルの今後の活用方法については、まだ確定はしていません。震災前だったと思いますが、久慈市の公園に岩手大学の学生が本棚を設置したことがありました。1冊本棚に入れることで、1冊借りることができるシステムで実験を行っており、とても興味深く思っていました。図書を中心にまちづくりを行うことはとても大切だと思います。宮古市の図書館は、古くなっておりますので建物も機能も充実させたいと考えています。
	山本市長	キャトルについては建物が古く危険なため、来年には解体する予定です。解体後の建物は、市民の皆さんの意見を取り入れたいと考えています。市民の皆さんの意見の中で、図書館を入れるという意見もあるため、検討したいと思います。先ほど大村委員から大会や合宿の誘致についての意見がありましたが、これについて具体的な施設の利用件数などをお願いします。
	佐々木生涯学習課長	はい。大学であれば、早稲田大学応援部がグリーンピア三陸みやこで合宿を行いました。これ以外では東北ヒロセ陸上競技場で。合宿が行われていることが多いです。昨年度の実績では、21件の大会や合宿が行われていますが、高校の合宿が多いです。
	山本市長	芸術文化については何かありますか。
	安原文化課長	芸術文化に関しまして、今年度は宮古市出身者によるコンサートを実施しております。教育大綱にもあるように、芸術文化団体が垣根を超え広く交流し、より創造性のある活動ができる環境づくりを進めてまいりたいと思います。
	山本市長	落語教室も行われていますが、その中で子どもたちは様々な経験を積んで、学んでいます。実際に経験することで、その後の興味関心につながると思います。それから外の世界を子どもたちに見てもらうことは、とても重要だと思います。友好都市交流事業で大仙市、室蘭市や多良間村に訪れていますが、ただ訪問するだけではなく、様々なことに興味を持ち関わってほしいと思います。宮古市内にいと気が付かないことも、市外に出ることで気が付くこともあります。こういった経験から、宮古市で暮らしていくためにはどうするべきかといった考えが出てくると思います。学校教育課長から何かありますか。
	菊池学校教育課長	はい。たくさんのご意見ありがとうございます。復興教育は、これからも大切にしていきたいと思っています。震災から学んだことを活かすだけではなく、今後の災害等に備えながら有事

		の際には、子どもたちが主体的に動くことができるような教育を進めていきたいと考えています。ICTの普及も進んでいます。目指しているのは、タブレットを文房具のように活用することです。タブレットでメモをとったり、ノートにメモをとったり子どもたちが文房具のように使用できれば良いと考えています。タブレットは万能ではありません。荒谷委員がおっしゃったように、教員が子どもたちの心をくみ取ったり、寄り添ったりできるようにしたいと思います。ICTが発達している中で、情報モラルについてはとても重要だと認識しています。情報の扱い方については、丁寧に進めていきたいと思いました。
山本市長		施策1 学校教育の充実の（1）確かな学力を育む教育の推進の中の放課後学習支援事業等は、私が伊藤教育長に依頼し取り組んでいるものです。以前学校を訪問した際に、通常の授業時間では習得できない内容でも、時間をかけて勉強することで身につく、さらに学習意欲の向上にもつながっているという話を聞きました。このように学習の時間が足りない子どもに対し、学習の機会を提供するために放課後学習支援事業を伊藤教育長にお願いしました。学校の先生方だけでは対応ができない部分もありますので、支援員などを配置し制度を進めています。大綱では現在の課題に対する方策を考えていますが、課題は変化しますのでその課題に対応していくことも必要だと思います。そのほかになにかありますか。
平井委員		中学生の子どもを持つ知人から聞きましたが、IGUCAカードの配布がとてもよかったそうです。部活動はもちろん、友人と遊ぶ際にも利用できたためとても充実していたようです。
多田企画部長		7、8、9月の3カ月間中学生の皆さんにバスに自由に乗れるカードを配布しました。実証事業開始前にバスの乗り方教室を行いました。その際にバスや鉄道に乗ったことがない生徒は8割ほどいました。多くの生徒が様々な用途で活用していました。このような形で新たな体験をしてもらい、経験を積んでほしいと思います。
山本市長		将来のためにも公共交通機関を利用できることは重要だと思います。こういった事業も教育の1つだと思います。そのほか何かありますか。
荒谷委員		今年の宮古市の行事を振り返り、特に印象に残っている行事をまとめました。学校公開の学校訪問、外国客船の歓迎事業、20歳の集い、早稲田大学応援部の合宿が印象に残っています。これからも継続して実施してほしいです。
杉本委員		私も早稲田大学応援部のパフォーマンスを見ました。サーモン・ハーフマラソンで早稲田大学応援部の応援を、選手に向けてしていただければよいと思いました。子どもたちも実際に応

		援を受けたり、応援している姿を間近で見たりすることでより興味関心が深まると思いました。
	山本市長	今年度のサーモン・ハーフマラソンのゲストランナーはどの大学ですか。
	佐々木生涯学習課長	今年度は青山学院大学、中央大学、日本体育大学の3校の選手がいらっしゃる予定です。
	大村委員	SAXの奏者の上野耕平さんが鉄道のファンだということで、三陸鉄道のグッズをお渡ししたところ、宮古市に行きたいとおっしゃっていました。三陸鉄道は現在宮古駅から新田老駅間で運休があり、復旧のためにクラウドファンディングを実施していると思います。上野さんにいらしていただいて、三陸鉄道内での演奏会を開催することで利用促進にもつながり、復旧のための費用も集めることができるのではないかと考えていました。
	山本市長	伊藤教育長からなにかありますか。
	伊藤教育長	荒谷委員がおっしゃっていたように、クルーズ船が寄港していますが、シルバー・ミュージックが寄港した際には宮古西中学校と交流を行いました。西中学校のおもてなしがとても素晴らしかったです。乗組員、観光客が学校を訪問し、給食の風景、掃除の風景などを紹介していました。また、剣道と柔道を実際に行ったり、郷土芸能を行ったりしました。今まで外国人観光客が、観光スポットを訪問することはありましたが、学校に訪問することはなかったためとても興味を持っていました。宮古市ならではのおもてなしができたと思いますので、これからも実施したいと思います。
	山本市長	はい、ありがとうございます。とてもよい取組だったと聞いていました。
	桐田副市長	機会があれば学校現場を実際に拝見したいと思います。給食も子どもたちと一緒に食べたいです。
	伊藤教育長	学校給食についてはコロナも落ち着いてきているので、再開したいと思います。宮古っこ給食が年20回前後実施されていますので、再開したいと思います。それから大学との関わりも、早稲田大学や青山学院大学だけではなく宮古短期大学部ともより交流を進めていきたいと思います。
	山本市長	はい、多くの意見ありがとうございます。次回以降の総合教育会議は、学校長の意見があってもよいのかと思いました。下島野総務部長から何かありますか。
	下島野総務部長	教育の充実や施設の充実について、教育は安心安全でなければならないというお話もありましたが、防犯対策や学校の移転などの大きな問題でもあると思います。市長部局と教育委員会で連携して、取り組んでいかなければならないと感じました。
	山本市長	大綱の中で細かい修正点や、防災教育などの記述が足りない部

		分がありましたが、伊藤教育長にご一任したいと思います。これからも教育振興基金を活用し、教育の充実に向けて取り組んでいただきたいと思います。
6 閉会	佐々木教育部 長	皆様ご意見ありがとうございました。いただいたご意見は、整えて大綱を策定したいともいます。本日はありがとうございました。以上を持ちまして、令和6年度宮古市総合教育会議を終了いたします。大変ありがとうございました。